[通常機体]シ A 「機動戦士ガンダム」

ジャムル・フィン

機体名	ジャムル・フィン	画像
型式番号	AMA-01AMA-01X	
英語名	JAMRU-FIN	
所属	ネオ・ジオン軍	
パイロット	デルダニーデューン	
装甲材質	ガンダリウム合金	
装備	ハイ・メガ・キャノン（出力 MS 時 6 ~ 10 MW/MA 時 30.1MW）3 連装小型ミサイル・ランチャー × 2 腕部ビーム砲（出力 5.3 MW/ ビームサーベルとして使用可） × 2	
作品名	機動戦士ガンダム	
参考書籍	1/144 ジャムル・フィン説明書	

内容

本機はネオ・ジオンが初めて開発に着手したモビルアーマーである。

だが、この機体は開発途上で急遽設計が変更され、実戦配備が決定した。

従って現在見るジャムル・フィンの内、本来のボディは胴体のみで、それ以外は頭部、腕部、脚部などは全て極めて短期間に製作された代用品である。

当初の予定では旧ジオン軍の「ビグ・ザム」の系統を引く大型モビルアーマーになる予定であった。

だが、戦局の進展とともにネオ・ジオンも開発に時間がかかる計画を認めるわけにもいかず、即戦力になると思われる機体は未完成であっても前線に投入せよと軍上層部より命令が下ったのだ。

本機の特徴は腹部のハイ・メガ・キャノンである。

戦艦の重装甲をセンサー有効半径ぎりぎりの距離から一撃で貫通、撃沈する威力を持つこの兵器は、まさしくモビルアーマー級のものと言えよう。

軍上層部はこの威力に注目し、人型兵器としての余分な機能を極力廃した自走砲として扱ったのだ。

また、可変機能は平行して開発が進められていたメガ・ブスターとのドッキングのため複雑なものではない。

ドッキングの利点は単に機動性の向上に留まらず、ハイ・メガ・キャノンのパワーアップも含まれる。

さらに一体化するため、搭乗式よりも急旋回などの高機動運動に適しており、急贓品にしてはよくできた設計といえよう。

初期生産分である3機は、デル、ダニー、デューン少尉のチーム「スリー D」隊が使用する。

このチーム名は3人の頭文字を取っただけでなく「3- デイメンション」文字通り3次元攻撃を特異とするところから付けられたあだ名だ。

備考

スペック

項目	内容
頭頂高	15 m
全高	17.2 m
本体重量	24.7 t
全備重量	58.5 t
ジェネレーター出力	4750 kw
スラスタ総推力	82600 kg
パワージェネレーター出力	4750 kw
移動用ロケット推力	34400 kg24100 kg × 2
アポジモーター数	
センサー有効半径	13400 m
姿勢制御用バーニア	10 基